

文化部会

“はばたけ神戸！”と歌いました コーロKSC・小・中・高校生が「希望のステージ」 国 6 - 文 芝野 公男



未来に向かってはばたけと「希望のステージ」で合唱するコーロKSCの皆さん

混声合唱団コーロKSC主催の「希望のステージ」と題する合唱演奏会が、2月2日（金）神戸文化ホールで開催されました。震災から12年、廃墟の中から立ち上がって復興に取り組んできた神戸が、新空港も開港し、もっと元気になって大きく未来へ向かってはばたいて行くようにとの願いをこめました。

更には震災とその復興の過程で学んだ、人と人との絆、地域の結びつき、そして日頃からの災害への備えの大切さなど、多くの教訓を風化させることなく、未来を担う子どもたちにも伝えたいとの想いもこめました。

この日は市内の小学校、中学校及び高等学校のコーラス部にも呼びかけて参加してもらい「神戸からの発信ネットワーク」からの助成金を頂いて、この演奏会を持ったのです。

第一ステージではコーロKSCが、2年前の「祈りのステージ」で初めて歌った、震災10年のレクイエム組曲「あれから10年」を歌いました。第

二ステージでは千鳥が丘小学校の子どもたちが、そして第三ステージでは親和中学校・親和女子高等学校及び神戸高等学校の少女たちが、それぞれに元気な歌や若者の想いをこめた歌を歌いました。

第四ステージでは再びコーロKSCが、永遠の生命の流れを水の流に譬えた曲を歌いあげました。そして最後の第五ステージでは合同演奏で、のじぎく兵庫国体やのじぎく兵庫大会のテーマ曲などと、コーロKSCの指揮者 守屋幸子先生が新たに作詞作曲した「神戸エアーポート」を全グループの参加者250人の大合唱で歌って、会場いっぱいのお客様たちの感動の大拍手を受けながら盛会裏に演奏会を閉じました。

コーロKSCではこれからも、合唱技能の向上に向けて、たゆまぬ研鑽に励むと共に、ボランティア活動やその他の社会活動への積極的な参加も続けて行きたいと願っています。

編集後記

本紙のトップページに掲載した「須磨一の谷プラザ」をグループわが管理運営を引受けけるにあたって、理事会でも色々論議になった。郷理事長が1,000人を越す会員を抱えて、一人でも多くの会員が活動できる場を確保したいと、関係方面に働きかけた結果、このたび須磨区役所から「是非グループわで引き受けてほしい」との要請があったものです。

旧勤労会館海の家は、施設の老朽化もあって利用者が激減し、年々大幅な赤字を出したため、18年5月に閉鎖したいきさつがあります。理事会ではこのことが問題となり「わの将来にとって大きなお荷物になる」「赤字が出たら市が面倒を見てくれるのか」など反対意見が出されました。郷理事長は社会貢献の実験場と位置付け、公募に應ずる決断をしたのです。

結果は3団体によるプレゼンテーションで競い合わせ、グループわの管

親睦の輪が広がるプレー 第2回グラウンドゴルフ大会

グループわ主催の「第2回各区対抗ふれあいグラウンドゴルフ大会」が4月10日（火）しあわせの村球技場で開かれました。今回、初参加の垂水、中央区をはじめ8地区と本部から19チーム、100人の選手が参加、プレーを通じて親睦を深めました。

郷理事長の挨拶、ラジオ体操で身体をほぐしたあと、競技がスタートしました。午前中2ラウンド、午後1ラウンドの計3ラウンド、24ホールで争われました。今回も初心者が多く、地面をたたいたり、とんでもない方向にボールを飛ばすなど珍プレーが続出です。地面がデコボコですが「ヤッター、ホールインワンや」の歓声があちこちから聞こえます。3時間におよぶ競技の結果、成績は次の通りでした。

【団体の部】

優勝 垂水区会（681）
準優勝 北区会（701）
3位 西区会（729）

【個人の部】

優勝 野田和夫（北区、61）
準優勝 岸田重徳（長田区、62）
3位 菱田実（垂水区、62）
4位 西阪順三（本部、62）
5位 山口雅信（須磨区、63）
BB 安元栄子（灘区、99）



団体優勝の表彰をうける垂水区会代表

理運営が決定したのです。市当局もわの要求を入れて、冷暖房設置などの改装工事を行ってくれました。

これからは如何に赤字を出さずに経営できるか、グループわの真価が問われるのです。現在スタッフは40人が登録していますが、まだ不足しています。郷理事長も今後、須磨一の谷プラザの運営に全力を注ぐ決心です。会員皆様のご理解と、機会があれば施設を利用して運営に協力していただくことです。（J・N）